

DEI Lounge EVENT 聴覚障害のバリアをこえて、つながろう—Let's enjoy communication! が開催され、セミナー・ワークショップを行いました (2025/11/26)

テーマ：聴覚障害、コミュニケーション、疑似体験、対話

会 場：DEI Lounge (東北大学川内北キャンパス 国際交流棟 1階)

URL：https://dei.tohoku.ac.jp/news_topics/event/p/47048/

2025年11月26日、川内北キャンパス国際交流棟1階でDEI Lounge EVENT「聴覚障害のバリアをこえて、つながろう—Let's enjoy communication!」が開催され、石川美希助教（上廣防災学寄附研究部門）が講演・登壇しました。DEI Loungeは本学の教職員、学生・大学院生を対象とした、ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、人種や民族などあらゆるバリアを乗り越え、お互いが尊重しあう社会の実現に向けて学び、理解を深める場となっております。当該セミナー・ワークショップでは、講師による聴覚障害の説明に加え、声だけに頼らない“伝え合い”を体験したり多様なコミュニケーションの可能性について考えたりする機会となるように構成が練られていました。具体的には以下の8つ
①伝音性難聴と感音性難聴の疑似体験、②APD/LiDの疑似体験、③読唇、④聴者同士と聴覚障害者同士の会話に入ってみる、⑤音声認識ソフトの使用体験、⑥日本手話と日本語対応手話の違いを知る、⑦手話で自己紹介、⑧ジェスチャー伝言ゲーム、の疑似体験およびゲームを通して、体験し考えていただきました。簡単な手話を学びながら、聴覚障害のある石川助教との対話を行うだけでなく、聴覚障害の疑似体験を通して、聴覚障害を自分事として捉えていただくことを狙いとしました。お互いに気づいていないことはたくさんあること、そのため、コミュニケーションを通じてお互いの認識のズレを調整する必要があること、コミュニケーション手段は音声言語に限定されているわけではないことなど、相手に伝わるためにはどうしたら良いのかを考える機会になったことだと思います。

なお、参加者からは以下の感想をいただきました。

「聴覚障害についての知識は全然なかったので、全てが勉強になりました。動画やゲームなど、私たちがイメージしづらい聴覚障害の世界が私たちにもイメージできるものとして捉えることができました。手話だけの会話などは初めて覗く世界でした。また、LiDの概念は勉強になりました。完全に聞き取れないわけではなくても、ADHD/ASD由来で聞き取りが苦手な人は身の回りにもいるので、UDトークなどをもっと日常的に使っていこうと思いました。」
(学部生・男性)

「初めて知る事が沢山あり、良い学びの場になりました。スライド内のコメントにもありましたが、コミュニケーションという意味では、他言語話者との関わりに共通する点も多いと感じました。他言語であれば、本人の努力で習得する事ができますが、聴覚障害は本人の努力で改善できることではない点において、聴者の聴覚障害に関する知識や理解、その為の教育、そして社会の中で双方が同じ様に生活できることが当たり前の環境が整っていることが必要と感じました。今日は有意義な時間と場をご提供くださいありがとうございました。」
(職員・女性)

「前半のみの参加でしたが、非常に勉強になりました。貴重な機会を有難うございました。多くの東北大生に聞いてもらいたい内容でした。」
(教員・女性)

文責：石川 美希（上廣防災学寄附研究部門）